

活性化 STING のがん治療標的としての評価：ステップ 2

(STING 遺伝子多型とがん種との関係の検討)

1. 研究の対象

2022 年 3 月以降に当院で検査・手術を受け、病院用あるいは連携研究室用包括同意書で検体を研究に使用することに同意された、90 歳未満の患者さん

2. 研究の概要

研究期間: 総長の研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日

研究目的: STING という遺伝子の配列は個々人で異なるのですが、その違いががんのでき易さ、治療のし易さ等と関係があるかどうかを明らかにすることです。

研究方法: 研究対象者の方のがん組織から得られた切片から DNA を回収し、遺伝子型を決定するとともに、切片を用いて STING の活性化状態も評価し、さらに診療記録等も合わせることで、がん種によって遺伝子型、活性化状態の偏りがあるかどうかを検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、性別、年齢、カルテ番号、病理検体番号 等

試料: 手術で摘出した組織

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 研究所・腫瘍増殖制御学部 研究責任者 東山 繁樹

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

-----以上